

新装成れる築地小劇場

正面全景

東京市京橋區築地

築地小劇場改築の経過

薄 田 研 二

今回の改築工事の計画は、土方與志の渡歐前に立てられてゐた。本年二月、我國有数の建築家劇場専門家約三十氏が、レインボー・グリルに參會され、劇場建築家として著名な川喜田煉七郎氏のプランを骨子として再三審議を重ね、同時に、一方、演劇の専門家が、例へば、演出家は、舞臺上の色々の機能を最も有効に發揮出来る様に、舞臺装置家は、その装置に關し、照明家は、照明に關して、各部門の優れた専門家の註文を充分攝取した上野呂英夫氏が現行法規に準據して、改築の第一行程を具體化すべく、現在の我國に於ける最も完備した非營利劇場として改築されることになつた。

その後、幾度もそのプランに對して更に慎重な協議が重ねられた上、改築工事に取かゝつたのは、八月中旬である。工事の請負者もこの改築に多大の意義を認め、喜んで此事業に参加された。商賣氣を離れて、工費を低額に、短期間に工事を進捗させることを承諾された。

之ら、多くの人々の築地小劇場に對する熱烈なる關心は、この改築工事に當つて具體的に多大の後援、協力となつて現れた。このことは、我が築地小劇場の從來の文化的功績、價值ある歴史を、證するものであると深く確信する。(『築地小劇場』より轉載)

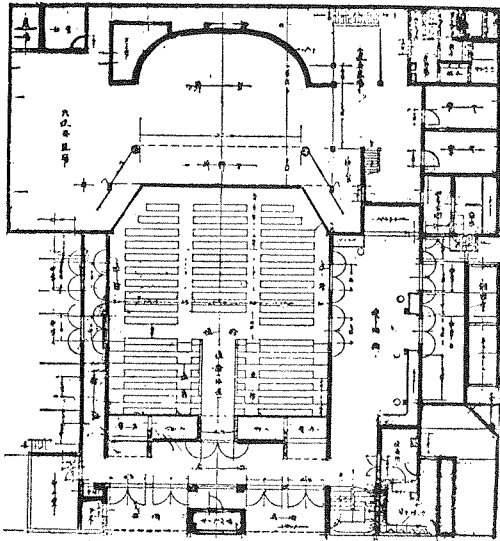
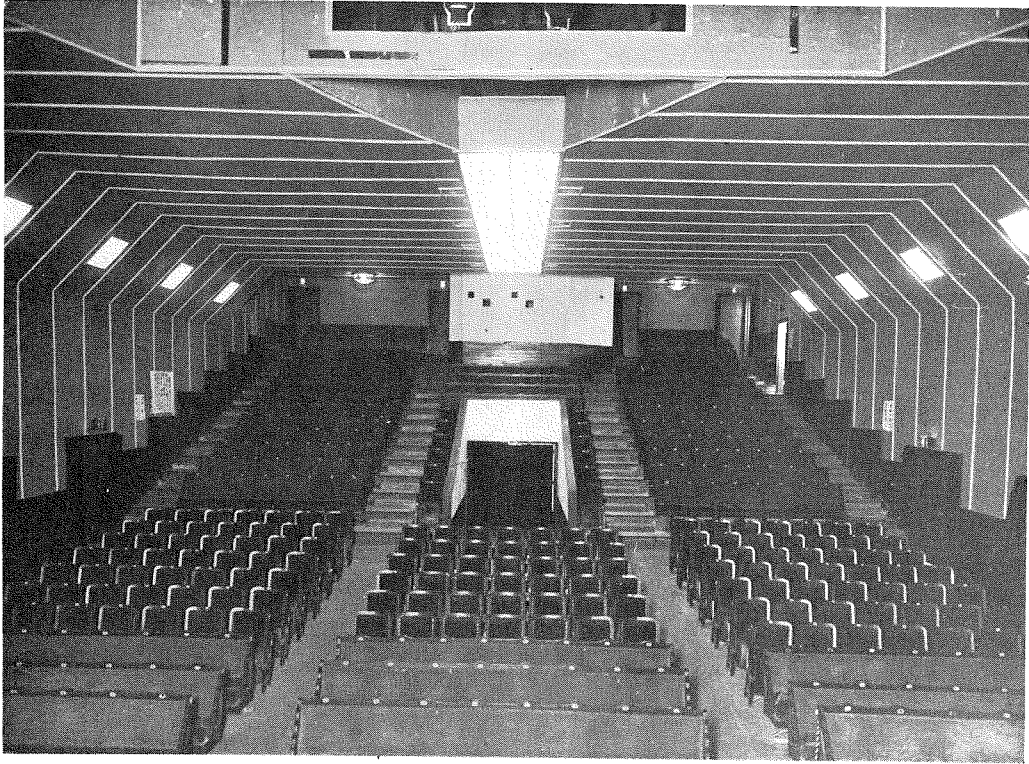
改善された重なる點

1. 今までの劇場の持つてゐた暗い感じが一扫されて全體として明朗な感じの劇場となつた。内面外觀共建築の仕上材料が非常に明快になり、壁の色も白くなつた。

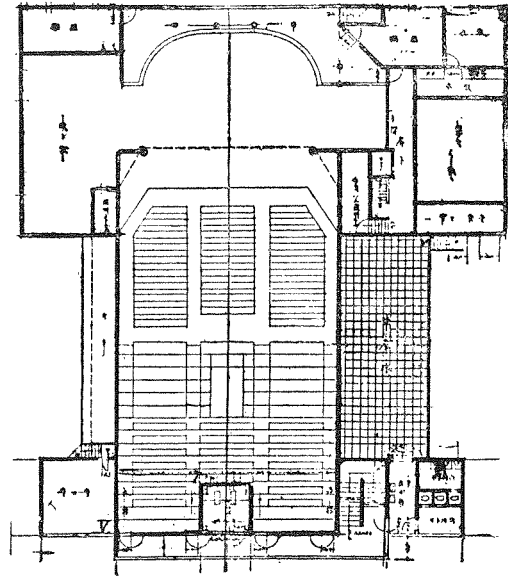
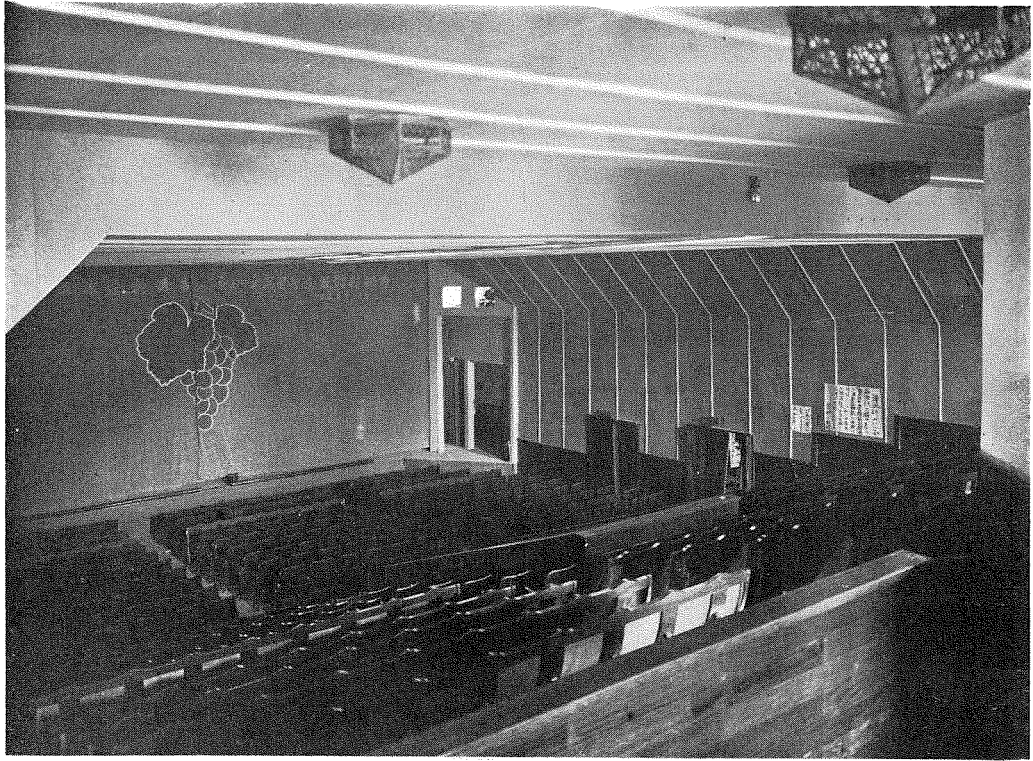
2. 正面の出入口を出来るだけ大きくして階段を取除き、出入に階段を昇ることなく頗る入り易い劇場となつた。
3. 舞臺が廣げられ廻り舞臺及移動舞臺の設備が完備し左右に花道が出来る様になつた
4. 樂屋や舞臺が廣く明くなり、稽古場にも使用出来る明るい大きな疊敷の部屋が出来た。
5. オーデイトリアム(觀客席)の形式が、ブリツチャータイプからスタジアムタイプ(階段式)になつた。
6. 建築の様式は何々式と名のついたものではなく 現實的な必要から建築のあらゆる要素を簡潔に取り入れて構成された。
7. 通風、暖房が徹底的に改善された。
8. 映寫ボックスが設備され、トーキー映寫機が取付けられた。

我國の演劇界に於ける一つの、そして唯一の特異な存在であり、また多くの功績と限りなき希望に満ち満ちてゐる築地小劇場の改築が竣成して、十月五日に開場した。この改築は川喜田煉七郎氏の設計で、鐵筋コンクリートの堂々たる建築となると最初新聞は報じた様だつたが、これはそのコンクリートの永久的建築を目ざしての第一段階である。

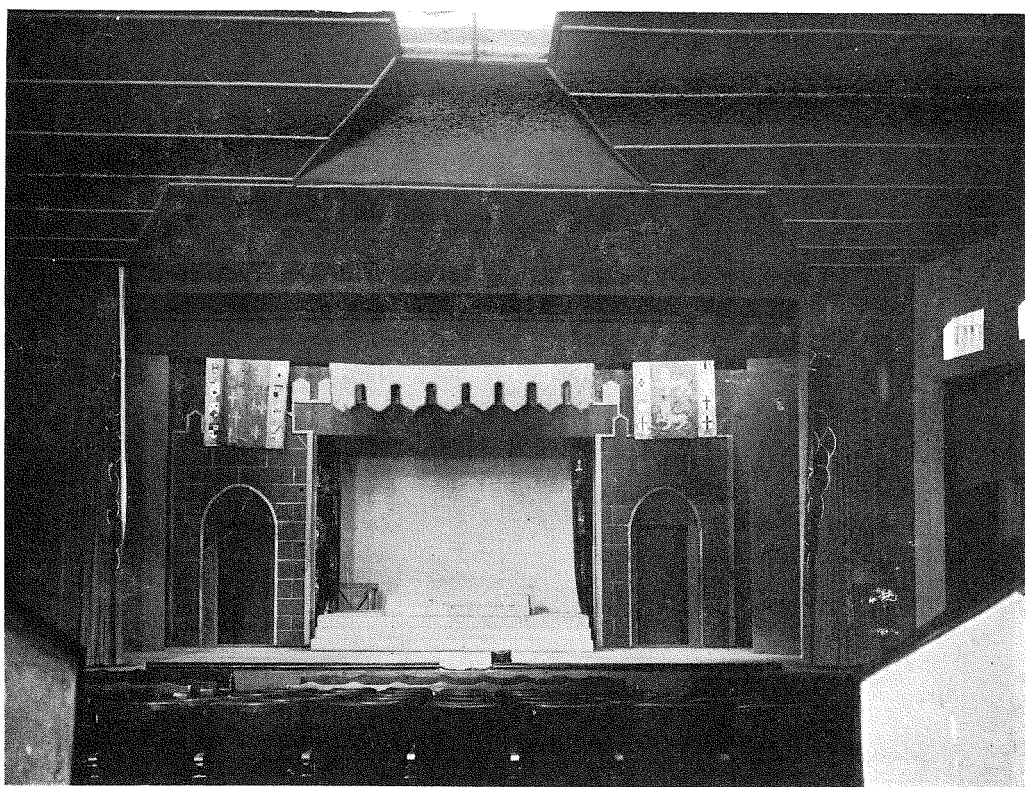
小劇場の特異性に就ては今更論する要はあるまい。然も記すのを忘れることが出来ないのは、同劇場が我國に於ける新劇のための唯一の劇場として眞しに『人間のための演劇』の發展につくしてゐる非營利劇場である爲、この歴史的社會情勢の下にあつては、非常なる經濟的困難と闘はねばならぬ事實だ。このことは日本の文化の進歩の爲に、大いに心を痛ませられる。若しも人ば、この改築資金として大衆が寄せた寄附金の報告を見るならば、不覺に涙ぐまされるものがあるだらう(露生)



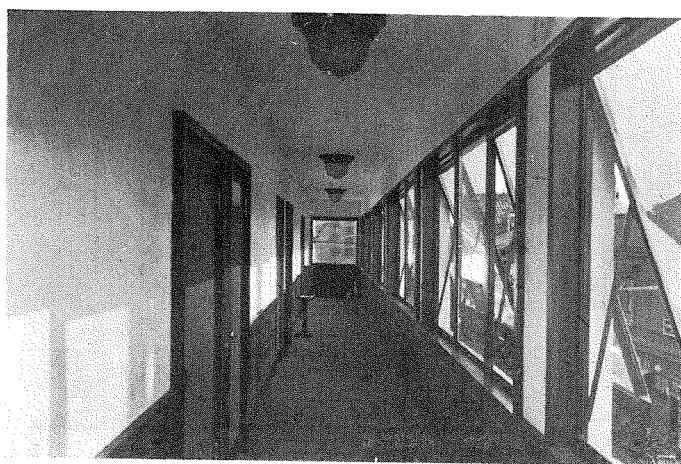
新装の築地小劇場
舞臺より観客席を見る
築地小劇場一階平面



新装の築地小劇場
二階より観客席を望む
築地小劇場二階平面



築地小劇場舞臺正面



階上廊下